

第172回メディカルビジネス研究会

MR力を高める

～ MRが医療の期待に応え、社会的地位を向上するために ～

【主催】：アポプラスステーション株式会社

【会場】：東京都千代田区九段北4丁目2番25号 アルカディア市ヶ谷
JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分

【日時】：2010年2月10日(水) 講演：16:00 - 17:30 懇親会：17:30 - 19:00

【会費】：1名様付5,000円(資料代、懇親会費含む) ※会費は当日申し受けます

【申込方法】：お名前・ご連絡先明記の上、FAXまたは返信メールにてお申込み下さい。

演者：財団法人 医薬情報担当者教育センター 総務部次長 近澤 洋平 氏

【講演のポイント】

まもなく新卒者が期待と不安を胸に入社してくる。リーマンショック以降に就職活動を始めた彼らは、厳しい就職戦線を勝ち取った成績優秀者だ。また、この時代にキャリアで途中入社してくるのは、景気後退の中で覚悟を決めた精鋭たちだ。毎年、製薬企業はMR認定試験合格に向けて必死に取り組んでいるが、彼らはMRの基礎力を身につけてくれるのだろうか？

医療を取り巻く環境は激変し、未曾有の転換期を迎えた。後発品の需要は今後ますます拡大が予測され、新薬メーカーは新薬を次々に出さなければ成り立たないビジネスモデルになった。果たしてMRによる「育薬」は今後も成り立つモデルなのだろうか？

MRの経費が薬価に反映され、医療保険制度で賄われている以上、医薬品の適正使用にMRが貢献するのは、公的な役割である。各企業の経営者は年頭所感で、「医療に貢献する」と力強く語り、医療関係者からは「MRはチーム医療の一員」と期待されている。逆に言えば、医療保険財政が逼迫する中で、MRが医療に役立つ存在でなければ、MR不要論は再燃する。

MRの社会的地位が向上し、MRが仕事に誇りを持てるようになるためには、MR教育センターにも果たすべき役割がある。センターが取り組む課題と、MR力を高めるためのヒントを示したい。

演者プロフィール

近澤 洋平 (ちかざわ ようへい) 氏

財団法人医薬情報担当者教育センター総務部次長

1985年東京農工大学農学部植物防疫学科卒業

同年第一製薬株式会社入社 東京第一支店で8年間MRとして開業医、中小病院を担当

1993年～2001年 医薬研修部にて若手MRの教育研修に従事

2001年～2007年 人事部人材開発グループにて全社の教育研修に従事

2007年4月より現職

自由が丘産能短大兼任講師

セミナー申込書

FAX 03—5800—5835

第 172 回メディカルビジネス研究会

貴社名		
ご住所		
電話番号	()	
F A X	()	
ご参加される方のご芳名	所属部署・ご役職	E-Mail

お申込み先 FAX 番号：03—5800—5835 E-mail：mb@apoplus.co.jp

お申込み締め切り ：2010 年 2 月 8 日(月)

*：ご登録いただいたお客様の情報は、お申込のセミナー運営および、今後のセミナーのご案内を行うために利用させていただきます。